

斎藤月岑編『増補浮世絵類考』(ケンブリッジ本)

( ) は割註・ は書入れ・ハ は見せ消ち

春章門人

勝川春好 二代目春好となりしは春扇と云しものなり

勝川春英 後一家をなす沢にしるせり

勝川春潮 中林舎

勝川春朗 後北斎と改む。一家をなす、其伝末に詳なり

勝川春紅

門人多し 一挙に尽べからず

月岑按に

〔春林〕

春常

春旭

春雀

春艶

春泉

等あり

春里

可尋

〔勝川春亭〕

〔同 春玉〕

〔同 春陽〕

〔同 春琳〕

〔同 春扇〕

〔同 春青〕

〔同 春和〕

〔同 春久〕

〔同 春徳 千太郎 十軒店〕

〔同 春洞 政蔵 左筆をよくす〕

〔同 春雪 後蓬山米之の云、麹町又赤坂住〕